

## 【結果公表】

弥富市地域公共交通網形成計画（案）に対するパブリックコメントの実施結果については、以下のとおりです。

案件名	弥富市地域公共交通網形成計画（案）		
募集期間	令和3年1月13日（水）～令和3年2月12日（金）		
担当課	市民生活部 市民協働課		
募集結果の概要	弥富市地域公共交通網形成計画（案）に対する意見を募集した結果、2人の方から2件の意見が提出されました。		
意見提出数	持参	0人	0件
	郵送	0人	0件
	ファクシミリ	1人	1件
	電子メール	1人	1件
	合計	2人	2件

### 提出された意見と市の考え方

No.	意見・提言の内容	市の考え方
1	<p>・P45：収支 事業経費 8 千万～9 千万前後かかるなかで、収支率 5.3%で、市の予算負担が 7～8 千万の損失補填していることの危機感が乏しい。 事業自体は重要なことと思われるので、事業の収支改善、および事業発展について提案したい。</p> <p>・計画全体 全体をとおしてさまざまな分析、アンケートを行ったデータの提供がほとんどで、それを踏まえての抜本的に収支を改善に努める策に乏しい。前例踏襲しているにすぎない。以下の改善案を提案する。</p> <p>&lt;目的&gt;：サービス見直しによる利用客増加（収入増加）により、収支改善を図る</p> <p>1、コースの抜本的な見直し 基本的に各地域のバス停の均等配置を廃止し、公共施設、駅、商業施設に絞った直線型のバス路線に変更する。</p>	<p>・現在のコミュニティバスの運行につきましては、バス停が点在していることや左回りと右回りの循環型となっていることから、幹線（直線）型のような路線にすることは難しい状況にあります。</p> <p>また、北部、南部、東部の3ルートで運行をしており、利用目的や利用者層もそれぞれ地域特性があり、運行方法に関してそれぞれでの見直しが必要であると感じております。</p> <p>そのような中、令和元年度に行いました住民意見交換会やアンケート調査でご意見の多かった南部ルートの通勤・通学のための急行便について、令和3年度に社会実験運行を行うこととしております。また、地域特性に応じた利便性の高い地域公共交通となるよう、各地域のご意見を伺いながら各ルートの再編を行うこととしております。（P136、137）</p>

No.	意見・提言の内容	市の考え方
	<p>(コース例)</p> <p>A: 弥富駅 (B と接続) ⇔ 市役所 (A と接続) ⇔ 海南病院⇔十四山支所 (C と接続) ⇔鍋田支所</p> <p>B: 市役所 (A と接続) ⇔弥富駅 (A と接続) ⇔イオンショッピングセンター⇔総合福祉センター⇔ピアゴ⇔佐古木駅 (C と接続)</p> <p>C: 佐古木駅 (B と接続) ⇔十四山総合福祉センター⇔十四山支所 (A と接続) ⇔借行会リハビリセンター (飛島蟹江線接続)</p> <p>2、上記のコースのなかに北部地区、南部地区、東部地区の各支所をエリア拠点バス停と指定し、特殊送迎タクシーを1~2台常時配置、各タクシーは、該当エリアの各戸と拠点バス停をハブとみため、拠点までの送迎をおこなう (あくまでバス停との連絡手段。エリア越境利用は認めない) 75歳以上の免許返納、身体障がい者、無免許者に、タクシー無料券や割引券で制度利用を促す。</p> <p>3、休日 (土・日・祝) コースの設定 休日は、市外からの市内観光地への移動手段と割り切り、土日の運行ルートを別に定める (コース例) D: 佐古木駅⇔三ツ又池公園 (E と連絡) ⇔海南こどもの国 (E と連絡) ⇔弥富野鳥園⇔富浜公園 E: 弥富駅⇔市役所⇔歴史民俗資料館⇔海南こどもの国 (D と連絡) ⇔三ツ又池公園 (D と連絡)</p> <p>4、イベントの展開 休日コースには、市長やミス弥富&amp;弥富金魚、ふるさとガイドボランティアが、交替で定期的に乗合わせ、乗車中の乗客に対して弥富市のガイド役を行う。記念撮影にも応じる。 グッズ販売も行っても面白い。</p> <p>&lt;期待する効果、狙い&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1により、目的地までの移動時間を大きく短縮し、通勤通学にも利用可能な利便性を生む。 また、弥富駅⇔市役所を充足することで、市外から通勤する職員の利用促進をはかり、安定的な基礎収入を狙う。</li> <li>・コースごとの接続拠点を設けることで、乗り継ぎ利用することで市内全域をカバーする。</li> </ul>	<p>なお、ご提案いただきました改善策につきましては、再編の検討を行っていく上で、参考とさせていただきます。</p>

No.	意見・提言の内容	市の考え方
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2により、バス停廃止の不便さを強いることなく、各戸までの利便性を向上。 原則無料とはせず、利用料をある程度徴収することで、事業費を多少なりとも捻出する。 むやみな利用とせず、利用者に計画的な活用を促す。 タクシーを使わず、拠点バス停までマイカーをもつ家族に送ってもらう、近所の知人友人で乗り合わせるなどと並行した活用を想定。</li> <li>・ エリア拠点バス停では、駐車場の利用、自転車置き場の利用活用を推奨することで、パーク＆ライド、サイクル＆ライドの活用を促す。 従来、各戸で家族を通勤通学で駅まで送っていたのを、各地区の拠点のバス停を利用することで、送迎者の負担軽減とバスの活用の同時効果にもつながる。</li> <li>・ 休日コースの設定により、市外の観光客の流入増加、運賃収入増加を見込む。</li> <li>・ バスガイド乗車イベントにより、観光客へのもてなしと同時に、弥富市の PR、バス活用の PR の相乗効果を狙うことができる。イベント目当ての乗客の増加を見込む。</li> </ul> <p>＜考えられるデメリット＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業費の増加 コースの見直しと送迎タクシーの導入で総事業費は増加する恐れ。しかし、それ以上にバス利用の促進を図り、サービス向上と収支改善を見込む。</li> <li>・ バス停廃止、コース変更への住民不満 上記の効果メリットを丁寧に説明・発信、また、事前に体験会開催、体験アンケートなど、効果を事前に実感するモニター制度もよいかもしれない。住民意見交換会を再度開催なども視野。 変更時には大々的に PR を行う。</li> </ul>	

No.	意見・提言の内容	市の考え方
2	<p>① P29～利用者を大幅に増やす。必要な人がだれでも利用できるようにすることについて</p> <p>② 1乗車あたりのコストカット、費用対効果の改善のためにP45との関係で述べる。</p> <p>(はじめに)</p> <p>令和元年8月20日弥富市議会は岡山県玉野市のバスとタクシーを併用する事業の行政視察を市担当部課長とともに行いました。</p> <p>当時私は市議の1人として参加しました。</p> <p>玉野市の面積は弥富市の約2倍 東西約20km、南北は幅3～9kmという細長い地形</p> <p>可住地面積は、0.89倍 人口は1.4倍、可住地人口密度は1.5倍、公共交通はJRが4駅、私バスが数路線運行されているなかで、現在の弥富市のような巡回方式をとり、空気バスと云われ、議会でも廃止論が出るような状態でしたが、必要な人がみんな利用できる公共交通を目指すとして、平成24年6月までの2路線循環方式を平成24年7月以後、2路線往復の幹線バス路線と市内200ヶ所以上の乗場を持つ予約制の乗合タクシーを活用し、全人口の98%を半径400m以内の乗場の中に取り込むことができるようにした。</p> <p>バス・タクシーとも7時台から17時台の運行が行われ、バスは2幹線の一方が往復11便、片方が往復13便で運行される。</p> <p>予約制の乗合タクシーは、朝の7・8時台の予約は前日の17時まででそれ以外は1時間前までの予約ができる。乗客1人だけでも運行するというものです。</p> <p>① について</p> <p>弥富市は計画案中の実績が平成26年度の69,060人から令和元年度の83,171人と増加はしていますが、他に利用できる私バス路線がなく、弥富としては多くの人利用したくても利用できない状態が放置されています。</p> <p>玉野市は、平成23年度の巡回方式の最後の年ですが、利用者は、68,242人でした。</p>	<p>・玉野市の施策は大変参考になりました。</p> <p>本市では、令和3年度から順次、各ルートの再編の検討を行っていく予定をしております。</p> <p>再編にあたりましては、効率的な運行ルートの検討や、デマンド等運行方法の変更も念頭に置きながら検討してまいります。</p> <p>なお、検討にあたりましては、地域特性や利用特性に応じた使いやすい運行方法とするためにも、住民意見交換会等により地域の意見をしっかりお聞きしてまいります。</p>

No.	意見・提言の内容	市の考え方
	<p>平成 29 年度の利用者数は、バス・タクシーの利用者数は、119,630 人、1.75 倍と急増しています。高齢化率が弥富市に比べて 10 ポイントほど高い玉野市では、「これで安心して免許の返納ができる」という声が多くなったという職員の話に励まされました。</p> <p>② について</p> <p>P45 にあるように、平成 26 年度経費総額 96,477 千円で、1 人当たりの運行費は 1,397 円から令和元年 1,109 円と減少していますが、玉野市のそれは、平成 23 年度で総費用 72,799 千円、1 人当たり 1,067 円です。平成 29 年度決算では総費用 78,054 千円で 1 人当たり 651 円 61%と大幅な改善が行われております。</p> <p>私がこの視察以前に持っていました、たしかに乗合タクシーの利用は便利となるが、費用はかなりかさむのではないかという心配を見事に覆されました。</p> <p>本日玉野市の担当者の方にお話を伺いますと、さらに改善が進められており、近日中に私の手元に資料を御送付いただくことになりましたので、参考資料としてお渡しできると思います。</p> <p>視察に参加した議員や市職員も大変参考になったと喜んでおり、視察団長の文書報告も出しているはずですので、今後の地域公共交通網形成計画の中にしっかりと取り込まれることを強く要請します。</p>	

意見募集時の公表資料

弥富市地域公共交通網形成計画（案）

問合せ先

市民生活部市民協働課 交通防犯グループ 電話 0567-65-1111 内線434